

毎週火・金曜日発行（当日が休日に当たるときは、休日の翌日）

福 島 県 報

目 次

○ 福島県監査委員
監査公表一件

福島県監査委員

監査公表第18号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により実施した定期監査の結果は、次のとおりです。

平成29年9月19日

福島県監査委員 柳 沼 純 子
福島県監査委員 宮 下 雅 志
福島県監査委員 美 馬 武 千 代
福島県監査委員 菅 家 惣 一 郎

- 1 監査実施期間 平成29年5月24日～平成29年8月25日
- 2 監査対象機関 公所47か所
- 3 監査の結果

監査は、北海道事務所ほか13機関については平成27会計年度及び平成28会計年度の財務に関する事務、県中地方振興局ほか32機関については平成28会計年度の財務に関する事務について実施した。

(1) 総務部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
県中地方振興局	平成29年8月23日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年7月20日 平成29年7月21日
東京事務所	平成29年6月15日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年5月12日
北海道事務所	平成29年6月16日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年5月11日 平成29年5月12日

○ 下記のとおり指摘事項が認められたので、今後このようなことの生じないよう適正な事務処理に努めること。

指摘事項

- 入札事務における落札者の決定について、著しく適正を欠いているものがあり、牽制体制が機能していない。

「事実」

管内公所発注工事にかかる条件付一般競争入札において、落札候補者となった者の入札参加資格を十分に確認せず、入札参加資格を有しない者を落札者と決定していた。

また、同様に当該人を相手方とする誤った落札者の決定が、平成24年度に1件、平成25年度に3件、平成27年度に2件あったことも発覚し、長期にわたって組織内の審査体制も機能していなかった。

「是正・改善等の意見」

入札事務における落札者の決定に当たっては、チェック体制を強化するとともに関係規程に基づき適正に行うこと。（県中地方振興局）

上記以外の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(2) 生活環境部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
環境創造センター	平成29年7月12日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年6月2日

上記の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(3) 保健福祉部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
県北保健福祉事務所	平成29年7月27日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年6月13日 平成29年6月14日
県中保健福祉事務所	平成29年7月12日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年6月8日 平成29年6月9日
県南保健福祉事務所	平成29年8月2日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年6月22日 平成29年6月23日
会津保健福祉事務所	平成29年7月26日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年6月15日 平成29年6月16日
南会津保健福祉事務所	平成29年7月14日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年6月1日 平成29年6月2日
相双保健福祉事務所	平成29年7月19日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年6月6日 平成29年6月7日
衛生研究所	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年5月18日
環境医学研究所	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月31日

- 下記のとおり指摘事項が認められたので、今後このようなことの生じないよう適正な事務処理に努めること。

指摘事項

- 児童福祉施設等入所費負担金に係る認定事務について、著しく適正を欠いているものがあり、牽制体制が機能していない。

「事実」

児童福祉施設等入所費負担金について、算定基礎となる世帯の所得認定を平成25年度、平成26年度及び平成28年度に誤ったまま決定し、結果、4実世帯で434,900円の調定誤りが発生している。（過大調定：2実世帯76,100円、

過小調定：2実世帯358,800円)

「是正・改善等の意見」

児童福祉施設等入所費負担金の認定事務に当たっては、チェック体制を強化するとともに関係規程に基づき適正に行うこと。(県北保健福祉事務所)

- ・児童福祉施設等入所費負担金について、制度の取扱いによることなく、長期間にわたり誤った認定事務処理を行っており、事務事業執行体制に適切を欠いている。

「事実」

児童福祉施設等入所費負担金について、平成22年度税制改正に伴う影響緩和措置が講じられたが、算出方法を定めた平成23年7月の各保健福祉事務所長宛て通知文書の取扱いによることなく、長期間にわたり誤った認定事務処理を行っていた。

その結果、平成24年度から平成28年度までの5年間で、17実世帯に対して負担金の調定額誤りが生じ、そのうちの1世帯については世帯所得の認定上の誤りも判明したことから、3,398,659円が過大な調定となっている。

「是正・改善等の意見」

児童福祉施設等入所費負担金の認定に当たっては、関係規程に基づき適正に行うとともに、組織内で情報共有を図るなどチェック体制を強化すること。

(相双保健福祉事務所)

- 下記のとおり指導事項が認められたので、措置又は留意・改善するよう指導した。

指導事項

- ・福島県重度障がい者支援事業補助金の返還金の収入調定について、1か月以上遅延しているものがある。(会津保健福祉事務所)

上記以外の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(4) 商工労働部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
テクノアカデミー郡山	平成29年6月7日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月24日
ハイテクプラザ	平成29年8月3日	柳沼 純子	菅家惣一郎	実地監査	平成29年6月21日

上記の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(5) 農林水産部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
県北農林事務所	平成29年8月1日	柳沼 純子	菅家惣一郎	実地監査	平成29年6月22日 平成29年6月23日
県南農林事務所	平成29年8月2日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年6月20日 平成29年6月21日
会津農林事務所	平成29年8月18日	柳沼 純子	菅家惣一郎	実地監査	平成29年7月4日 平成29年7月5日
南会津農林事務所	平成29年8月17日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年6月27日 平成29年6月28日
相双農林事務所	平成29年8月4日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年6月27日 平成29年6月28日
水産事務所	平成29年5月30日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年4月21日
水産試験場	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年4月26日

内水面水産試験場	平成29年6月9日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年5月9日
----------	-----------	-------	-------	------	-----------

- 下記のとおり指導事項が認められたので、措置又は留意・改善するよう指導した。
 指導事項
 ・土地改良振興費負担金の収入調定について、1か月以上遅延しているものがある。
 (会津農林事務所)
 上記以外の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。
- (6) 土木部

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
県中建設事務所	平成29年8月23日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年7月13日 平成29年7月14日
県南建設事務所	平成29年8月25日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年7月18日 平成29年7月19日
福島空港事務所	平成29年6月13日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月27日

- 下記のとおり指導事項が認められたので、措置又は留意・改善するよう指導した。
 指導事項
 ・県営住宅使用料について、現年度の収入徴収率が県平均を下回り、かつ、前年度を下回っている。
 (県南建設事務所)
 上記以外の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。
- (7) 教育委員会

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
県北教育事務所	平成29年8月1日	柳沼 純子	菅家惣一郎	実地監査	平成29年6月20日
県中教育事務所	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月30日
県南教育事務所	平成29年6月13日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月27日
会津教育事務所	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年5月19日
南会津教育事務所	平成29年6月14日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年5月10日
郡山自然の家	平成29年6月7日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月21日
会津自然の家	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月31日
白河実業高等学校	平成29年8月25日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年7月28日
西会津高等学校	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年4月24日
田島高等学校	平成29年6月9日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月27日
南会津高等学					

校	平成29年6月9日	宮下 雅志	菅家惣一郎	実地監査	平成29年4月26日
只見高等学校	平成29年6月14日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年5月9日
いわき総合高等学校	平成29年5月30日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年4月21日
ふたば未来学園高等学校	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年5月18日

- 下記のとおり指摘事項が認められたので、今後このようなことの生じないよう適正な事務処理に努めること。

指摘事項

- ・授業料の調定事務において、著しく適正を欠いているものがある。

「事実」

- 1 平成28年7月に1件613,800円及び同年10月に1件59,400円の収入調定が欠落している。
- 2 平成28年12月に収入調定すべき1件554,400円について、誤って同年11月にも収入調定したため、二重調定となっている。
- 3 平成28年7月分授業料より高等学校等就学支援金対象者となった生徒2名の口座引落停止手続を失念し、同年10月に19,800円、同年11月に39,600円を誤って収入し、その収入について調定を行っていないにもかかわらず、誤って同年11月及び同年12月にそれぞれ29,700円を減額調定している。
- 4 上記調定欠落及び調定額誤りについて、それぞれ増額調定又は減額調定すべきところ、平成29年3月に一括してその差額である178,200円を収入調定している。

「是正・改善等の意見」

授業料の調定事務に当たっては、関係規程に基づき、適正な事務処理に努めること。
(白河実業高等学校)

上記以外の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(8) 公安委員会

対象機関	実施年月日	担当監査委員		実施方法	職員調査年月日
福島警察署	平成29年5月24日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年4月26日
福島北警察署	平成29年5月24日	宮下 雅志	美馬武千代	実地監査	平成29年4月24日
郡山警察署	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月23日
郡山北警察署	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年5月17日
須賀川警察署	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月24日
会津若松警察署	平成29年6月9日	柳沼 純子	美馬武千代	実地監査	平成29年5月10日
いわき中央警察署	平成29年7月31日	宮下 雅志	菅家惣一郎	書面監査	平成29年5月30日
いわき東警察署	平成29年7月31日	柳沼 純子	美馬武千代	書面監査	平成29年5月19日

上記の監査対象機関の財務に関する事務の執行は、適正と認められた。

(監査総務課)

監査公表第19号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により実施した県公営企業に係る定期監査を執行した結果は、次のとおりです。

平成29年9月19日

福島県監査委員 柳 沼 純 子
 福島県監査委員 宮 下 雅 志
 福島県監査委員 美 馬 武 千 代
 福島県監査委員 菅 家 惣 一 郎

監査対象機関 福島県企業局

執行年月日 平成29年7月31日（実地監査）

担当監査委員 宮 下 雅 志
 菅 家 惣 一 郎

（福島県工業用水道事業）

第1 決算及び財務の状況

平成28年度における決算及び財務の状況は、損益計算書、貸借対照表その他の財務諸表に適正に表示されており、財務に関する事務の執行については、一部に改善又は検討を要するものが見受けられたものの、おおむね適正に執行されたものと認められる。

第2 事業経営の状況

当年度における工業用水道事業の業務運営の状況は、総給水量319,007,185^m³で、前年度と比較して7,947,059^m³（2.4%）減少している。

なお、当年度における建設改良事業については、相馬工業用水道第2期整備事業に係る配水管布設工事等を実施している。

経営成績では、事業収益が2,557,241,687円に対し事業費用は2,427,209,392円で、当年度の純利益は130,032,295円となっており、前年度より35,721,662円（21.6%）利益が減少している。これは、前年度と比較し、主に特別利益（原発事故損害賠償金等）により収益は増加したが、営業費用（修繕費等）を中心に費用も増加したことから、結果として、増収減益となったものである。

（福島県地域開発事業）

第1 決算及び財務の状況

平成28年度における決算及び財務の状況は、損益計算書、貸借対照表その他の財務諸表に適正に表示されており、財務に関する事務の執行については、一部に改善又は検討を要するものが見受けられたものの、おおむね適正に執行されたものと認められる。

第2 事業経営の状況

当年度における地域開発事業の実績は、田村西部工業団地において24,017.99^m²、白河複合型拠点において23,532.23^m²を分譲している。また、浜通り南部の復興に向けた企業誘致を進める目的でいわき市四倉に新たな工業団地を造成中であり、平成30年3月に完成する予定である。

当年度末における分譲率は、田村西部工業団地が98.3%、白河複合型拠点（造成済み）の工場用地がC工区100.0%、業務用地が60.6%、住宅用地が100.0%となっている。また、当年度末における未分譲地の面積は、田村西部工業団地が10,983.62^m²、白河複合型拠点（造成済み）の業務用地が34,918.24^m²となっている。

経営成績では、事業収益765,386,291円に対し事業費用は814,311,507円で、当年度の純損失は48,925,216円となっており、前年度の純利益98,325,732円と比較すると、損益は悪化している。これは、前年度と比較して土地の売却等により事業収益は増加したものの、報償費などの一般管理費の増加等により事業費用は大きく増加したことなどによるものである。

平成28年度末における累積欠損金は18,590,567,681円となっており、企業債残高も12,734,136,607円に上るなど、依然として極めて憂慮すべき状況である。

○ 下記のとおり指摘事項が認められたので、今後このようなことの生じないよう適正な事務処理に努めること。

指摘事項

- ・ 前回の監査において指導事項とした収入調定の時期遅延について、今回も同様の事案が発生し、改善されておらず、内部牽制が不十分である。

「事実」

平成28年度実施の定期監査において、調定の時期遅延の指導を受け、今後同様の事例がないように情報を共有するとともに進行管理を徹底し、内部チェッ

ク機能を充実させる旨の処理結果を報告したにもかかわらず、平成28年度の株式会社甲の年間土地使用料3件計26,710円について平成28年4月1日に調定すべきところ、平成29年1月11日に調定しており、内部チェックが機能していない。

「是正・改善等の意見」

行政財産の収入調定事務について、組織としての内部^{けん}牽制が的確に行われるようチェック体制を早急に確立し、関係規程に基づいた適切な事務処理を行うこと。

- ・支出時期が著しく遅延したことにより、延滞税が発生するなど県に損害を生じさせたものがある。

「事実」

源泉所得税の納付が6か月以上、回線使用料及び物品購入代金等の支払いが1か月以上遅延したことにより、延滞税1,100円、遅延利息2,118円が発生した。

「是正・改善等の意見」

支出に当たっては、関係規程に基づき適正な時期に行うこと。

- 下記のとおり指導事項が認められたので、措置又は留意・改善するよう指導した。指導事項

- ・委託料及び負担金の精算に適正を欠くものがある。

監査対象機関 福島県企業局いわき事業所
 執行年月日 平成29年8月30日（実地監査）
 担当監査委員 柳 沼 純 子
 菅 家 惣一郎

事業経営の状況

給水事業を行っているが、その事業管理の状況は適正であったと認められる。

- 指摘等事項

特に認められなかった。

監査対象機関 福島県病院局
 執行年月日 平成29年7月31日（実地監査）
 担当監査委員 柳 沼 純 子
 美 馬 武千代

（福島県立病院事業）

第1 決算及び財務の状況

平成28年度における決算及び財務の状況は、損益計算書、貸借対照表その他の財務諸表に適正に表示されており、財務に関する事務の執行については、一部に改善又は検討を要するものが見受けられたものの、おおむね適正に執行されたものと認められる。

第2 事業経営の状況

大野病院が東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い休止していることから、当年度における利用可能な施設は、3病院1診療所、許可病床数329床である。

平成28年度の患者数は、入院が延べ66,080人、外来が延べ97,708人で、前年度と比較して、入院は4,997人（7.0%）の減少、外来は3,964人（4.2%）の増加となっており、矢吹病院の地域生活移行促進や南会津病院の手術件数の減少等により入院患者が減少し、大野病院附属ふたば復興診療所開所により外来患者が増加している。

経営成績では、医業収益2,743,354,843円に対し医業費用が5,746,827,148円となり、医業損失は3,003,472,305円で前年度と比較して106,816,871円（3.7%）増加している。また、総収益7,500,426,395円に対し総費用が7,522,412,316円となり、純損失は21,985,921円で前年度と比較して5,807,953,184円（100.4%）損益が悪化している。損益が悪化したのは、平成27年度において計上した大野病院財物賠償金5,811,786,543円がなくなったことなどによるものである。

平成28年度において一般会計から繰り入れられた負担金・補助金は、県立病院再編等経費（喜多方病院等解体経費）の減少等により、総額4,134,019,360円となり、前年度と比較して117,566,836円（2.8%）減少している。

（病院局）

事業収支は、費用が1,912,987,150円で前年度と比較して廃止病院解体工事完了に

よる前払金の費用化等により1,338,241,358円（232.8%）増加したものの、収益が1,918,666,724円で前年度と比較して廃止病院解体工事完了による前受金の収益化等により1,341,870,906円（232.6%）増加したため、純利益は5,679,574円で前年度と比較して3,629,548円（177.0%）増加している。

- 下記のとおり指導事項が認められたので、措置又は留意・改善するよう指導した。
指導事項
・企業会計原則等に照らし、過年度損益修正損の計上に適正を欠いている。

監査対象公所 県立矢吹病院
執行年月日 平成29年7月27日（実地監査）
担当監査委員 柳 沼 純 子
美 馬 武千代

事業経営の状況

平成28年度の利用状況は、入院患者数延べ42,739人、外来患者数延べ16,571人であり、前年度と比較して入院は874人（2.0%）減少し、外来は1,117人（7.2%）増加した。入院患者減少の要因は、早期退院、地域生活移行の取組等によるものであり、外来患者増加の要因は、児童思春期外来及び訪問看護に係る患者の増加等によるものである。

事業収支は、費用が1,676,538,508円で前年度と比較して35,750,490円（2.1%）減少したものの、収益が1,675,816,795円で前年度と比較して36,201,161円（2.1%）減少したため、純損失は721,713円で前年度と比較して450,671円（166.3%）増加した。

なお、一般会計から繰り入れられた精神病院増こう経費負担金を除いた実質の純損失は558,982,662円で、前年度と比較して67,858,685円（10.8%）減少している。

- 指摘等事項
特に認められなかった。

監査対象公所 県立宮下病院
執行年月日 平成29年7月21日（実地監査）
担当監査委員 柳 沼 純 子
美 馬 武千代

事業経営の状況

平成28年度の利用状況は、入院患者数延べ4,976人、外来患者数延べ14,081人で、前年度と比較して、入院は112人（2.3%）増加し、外来は460人（3.2%）減少した。入院患者増加の要因は、夏期の高温による患者数の増加等によるものであり、外来患者減少の要因は、内科の再来患者が減少したことなどによるものである。

事業収支は、費用が686,510,224円で前年度と比較して51,774,487円（7.0%）減少したものの、収益も684,904,521円で前年度と比較して51,774,275円（7.0%）減少したため、純損失は1,605,703円で前年度と比較して212円（0.0%）減少とほぼ横ばいである。

なお、一般会計から繰り入れられた不採算地区病院運営費負担金を除いた実質の純損失は333,081,246円で、前年度と比較して22,952,294円（6.4%）減少している。

- 指摘等事項
特に認められなかった。

監査対象公所 県立南会津病院
執行年月日 平成29年7月14日（実地監査）
担当監査委員 柳 沼 純 子
美 馬 武千代

事業経営の状況

平成28年度の利用状況は、入院患者数延べ18,365人、外来患者数延べ60,702人で、前年度と比較して入院は4,235人（18.7%）、外来は2,084人（3.3%）とともに減少した。減少の要因は、南会津地域の人口減少に加え、手術件数の減少及び外来診療日数の減少等によるものである。

事業収支は、収益が2,292,429,429円で前年度と比較して88,456,777円（3.7%）減少したものの、費用が2,295,115,134円で前年度と比較して88,822,864円（3.7%）減少したため、純損失は2,685,705円で前年度と比較して366,087円（12.0%）減少した。

なお、一般会計から繰り入れられた不採算地区病院運営費負担金を除いた実質の純損失は467,284,359円で、前年度と比較して113,105,396円（31.9%）増加している。

- 指摘等事項
特に認められなかった。

監査対象公所 県立大野病院
執行年月日 平成29年8月29日（書面監査）
担当監査委員 柳 沼 純 子
菅 家 惣一郎

事業経営の状況

当病院は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、平成23年3月12日から休止となっていることから、入院及び外来の実績はない。

事業収支について、収益は原子力損害賠償請求による賠償金が主なものであり、705,001,981円で前年度と比較して5,877,013,475円（89.3%）減少した。費用は人件費が主なものであり、727,775,209円で前年度と比較して65,431,458円（8.2%）減少した。この結果、純損失22,773,228円で前年度と比較して財物賠償金相当額の5,811,582,017円（100.4%）損益が悪化している。

○ 指摘等事項

特に認められなかった。

監査対象公所 県立大野病院附属ふたば復興診療所
執行年月日 平成29年7月19日（実地監査）
担当監査委員 宮 下 雅 志
菅 家 惣一郎

事業経営の状況

平成28年度の利用状況は、外来患者数延べ6,354人で、前年度と比較して5,391人（559.8%）の増加である。

なお、当診療所は、平成28年2月1日に開所したため、前年度は2か月間分の実績となっている（以下同じ）。

事業収支は、収益が福島県地域医療再生臨時特例基金事業補助金119,754,605円を含め223,606,945円で、前年度と比較して197,956,378円（771.7%）、費用が223,486,091円で、前年度と比較して197,872,721円（772.5%）とともに増加しており、純利益は120,854円で前年度と比較して83,657円（224.9%）増加した。

○ 指摘等事項

特に認められなかった。

（監査総務課）